

理学療法概論

[講義] 第2学年～第3学年 前期 選択 1単位

《担当者名》○吉田 晋 (リハビリテーション科学部) ysdssm@hoku-i-ryo-u.ac.jp

【概要】

本講義は、理学療法とは何かを理解し、その成り立ちや発展の過程を学ぶことで、理学療法士を目指す学生にとっての最初の専門的導入科目として位置づけられる。理学療法の定義、歴史、適応領域、ならびに代表的な治療手技について概説し、理学療法の具体的な内容を体系的に理解することを目的とする。これらを通して、将来理学療法士として業務を遂行するために必要な基礎的素養を養う。

【学修目標】

I 一般目標

医療機関や施設、地域における理学療法業務の概観を理解するために、理学療法の定義と歴史、社会全体における理学療法の役割について説明できる。

行動目標

1. 理学療法(士)とは何か、理学療法の具体的な内容や業務範囲について説明できる。
2. 専門職としての理学療法士に関する臨床的思考過程、理学療法実践過程について説明できる。
3. 理学療法士の教育体系について説明できる。
4. 理学療法士に必要な管理及び運営の方法について説明できる。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

吉田 晋 (理学療法士)

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関、福祉施設等での実務経験を活かし、理学療法及び理学療法士の実践内容や実践分野について具体的な内容を講義する。